

促進員情報を少しお休みさせて頂きまして、ありがとうございました。今日からまた通常に送信していきたいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

今日は、こちら澄み渡る青空いっぱいのお天気、動きやすいですね。寒さはこれからですが、もう今年も1か月と少し、何か過ぎ去ることの早さを実感します。そろそろ、この1年間の振り返りという時期になりますが、いろいろあり過ぎて…。大河ドラマを毎回楽しんでおり、歴史の変遷を考えます。いまの世界の争い、気候環境問題、気になる大問題。気候環境は少しでもできる事がありますが、出口の見えない争い、本当に早く終わってほしい、皆望んでいるのに…。ここにも歴史の流れが絡んでいるようです。(菅野)

## 目次

- 1 がんじゅう沖縄メルマガ【保健師コラム】
- 2 ≪動画≫令和5年産業殉職者合祀慰霊式について 独立行政法人労働者健康安全機構
- 3 関連情報

- 1 **がんじゅう沖縄メルマガ【保健師コラム】** \*ご快諾ありがとうございます。  
沖縄産業保健総合支援センター <http://www.okinawas.johas.go.jp/>

はいたい！産業保健専門職（保健師）の千葉です。

沖縄も風の気配が変わり、涼しい風が吹いてきました。暑い季節に終わりを告げる北寄りの季節風のことを「新北風（ミーニシ）」とも呼ぶそうですよ。

今年も残すところあと2か月、季節の変わり目で体調を崩しやすい時期でもあります。仕事と休養のメリハリをつけて体調に気をつけて過ごしたいものです。

そうとはいえ、熱帯気候の沖縄はこれからの冬の季節は県外に比べて温かく、晴れた日は初夏のようなさわやかな日差しもあり、各地でスポーツ大会も催される過ごしやすい季節になっています。

職場の転倒による事故や作業による腰痛も増えてきている中、日々の身体づくりのために適度な運動を取り入れることはとても大切です。

そして運動の前に意識していきたいのが普段の「姿勢」。気づくと猫背になっていたり、背中が丸くなってしまうことありませんか？肩こり・腰痛の原因は日々の何気ない姿勢の積み重ねが関係しています。

### 『簡単！姿勢のセルフチェック』

- (1)壁を背に立ちます。「かかと」「お尻」「肩甲骨」「後頭部」をつけて真っすぐに立ちます。
- (2)上記の姿勢を1～3分間キープしてみましょう。
- (3)これを1日1回行うことで、「美姿勢」が作られていきます。

姿勢が良くなると呼吸の深まりや運動効果の向上、「肩こり」「腰痛」の改善にも繋がります。

また、良い姿勢は相手に好印象も与えますので、お仕事の場面でも役立ちますよね。

運動の土台である「姿勢」を意識することは、効果的な運動のためにもとても大切です。

これからの季節、屋外で過ごしやすくなり沖縄の自然に触れる機会も増えると思いますが、沖縄の美しい自然の映像をたくさん詰め込んだ沖縄さんぽの紹介動画を作成しました！

<https://www.youtube.com/watch?v=oJAYudhjnu4&t=60s>

センターの支援内容と合せて、沖縄県の特徴的な自然、文化、芸能、産業構造なども併せて紹介しておりますので、ぜひ楽しんでご覧ください。

(沖縄産業保健総合支援センター 産業保健専門職 千葉 千尋)

(\*素晴らしい動画、紹介したくなりました。どうぞご視聴ください。菅野)

## 2 <動画>令和5年産業殉職者合祀慰霊式について 独立行政法人労働者健康安全機構

<https://www.johas.go.jp/chinginengo/tabid/2369/Default.aspx>

令和5年10月25日(水)、東京都八王子市の高尾みころも霊堂において、令和5年産業殉職者合祀慰霊式が執り行われました。

なお、式典の様子は、こちらからご覧になれます。

[https://www.youtube.com/watch?v=h28RjqIpw\\_I](https://www.youtube.com/watch?v=h28RjqIpw_I)

## 3 関連情報

◇ 厚生労働省▼△新着情報配信サービス から

(1) 「ポストコロナ医療体制充実宣言」の公表について

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=b4g4QVvl7yzvc139Y>

(2) 令和5年度「医療安全推進週間」について

令和5年11月19日(日)～11月25日(土) (毎年度11月25日を含む1週間)

[https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=E\\_RVJJJuxVib2jW6BY](https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=E_RVJJJuxVib2jW6BY)

厚生労働省では、「患者の安全を守る」ことを中心とした総合的な医療安全対策を推進するため、2001年から各関係者の共同行動を「患者の安全を守るための医療関係者の共同行動(ペイシエント・セーフティ・アクション)」と命名し、様々な取り組みを推進しています

(3) 第1回 かかりつけ医機能が発揮される制度の施行に関する分科会 資料

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k3TQJzTESk3te8EBY>

(4) 「働き方改革推進支援セミナー 日本の賃金について考える2023冬」を開催します

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=a4wtXOPJLl6O9Rz5Y>

(5) 「第12回健康寿命をのばそう!アワード<生活習慣病予防分野>」最終審査・表彰式を行います。

[https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=Y4QIVovBJlaG\\_efxY](https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=Y4QIVovBJlaG_efxY)

<別紙1・2> [159KB]

<https://www.mhlw.go.jp/content/10904750/001168669.pdf>

(6) 令和5年度健康危機における保健活動会議 資料

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=s1ThjS2durhyg0ohY>

(7)【広報誌「厚生労働」のご紹介】 ウェブでも記事の一部を公開しています。

[https://www.mhlw.go.jp/houdou\\_kouhou/kouhou\\_shuppan/magazine/](https://www.mhlw.go.jp/houdou_kouhou/kouhou_shuppan/magazine/)『

厚生労働』2023年11月号目次

[https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou\\_kouhou/kouhou\\_shuppan/magazine/202311.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou_kouhou/kouhou_shuppan/magazine/202311.html)

▷特集1 [安全な医療のために ～患者と医療者が一緒につくる～](#)

▷特集2 [日々進化する業界で働く キラキラ輝く「介護のしごと」](#)

◇ J I L P Tから

(1) 第4期プロジェクト研究シリーズ、好評発売中！

<https://www.jil.go.jp/institute/project/series/2022/index.html?mm=1917>

No.1 『70歳就業時代における高年齢者雇用』

<https://www.jil.go.jp/institute/project/series/2022/01/index.html?mm=1917>

No.2 『全員参加型の社会実現に向けたキャリア支援』

<https://www.jil.go.jp/institute/project/series/2022/02/index.html?mm=1917>

No.3 『第四次産業革命と労働法政策—“労働4.0”をめぐるドイツ法の動向からみた日本法の課題』

<https://www.jil.go.jp/institute/project/series/2022/03/index.html?mm=1917>

No.4 『介護離職の構造—育児・介護休業法と両立支援ニーズ』

<https://www.jil.go.jp/institute/project/series/2022/04/index.html?mm=1917>

No.5 『日本社会の変容と若者のキャリア形成』

<https://www.jil.go.jp/institute/project/series/2022/05/index.html?mm=1917>

No.6 『雇用流動化と日本経済—ホワイトカラーの採用と転職』

<https://www.jil.go.jp/institute/project/series/2022/06/index.html?mm=1917>

No.7 『働き方改革、働き過ぎの、「今」—課題解消の手掛かりを求めて』

<https://www.jil.go.jp/institute/project/series/2022/07/index.html?mm=1917>

(2) 職種別賃金分析の報告書を発表／連合

連合は10月26日、職種別賃金分析の報告書を発表した。2022年の賃金構造基本統計調査特別集計にもとづき、男女別や正社員・契約社員・短時間労働者等の雇用形態別の賃金の比較分析の結果や、職種別・産業別の賃金額等のランキングを示している。第5章では、賃金カーブの5分類（高山型、低山型、高原型、台地型、平地型）を試み、第6章ではケーススタディとして13の職種を取り上げ、関連データを分析している。

<https://www.jtuc->

[rengo.or.jp/activity/roudou/shuntou/2024/wage\\_analysis/wage\\_analysis\\_report.pdf](https://www.jtuc-rengo.or.jp/activity/roudou/shuntou/2024/wage_analysis/wage_analysis_report.pdf)

(3) 今年の新卒採用、「学生に優位な売り手市場」とみる大学が8割超／民間調査

ディスコは14日、全国の大学の就職課・キャリアセンターを対象に、2024年卒者の就職活動状況や2025年卒者への就職支援状況等に関するアンケート調査結果を発表した。2024年卒者（現4年生）の内定状況について、前年度と比べて「高まっている」との回答は35.2%

で、「低下している」(2.4%)を大幅に上回った。新卒採用市場の見方については、「完全に売り手市場だと思う」が29.9%(前年8.0%)と急増、「やや売り手市場だと思う」は53.9%(同50.4%)と、8割を超える大学が「学生に優位な売り手市場」とみている。

[https://www.disc.co.jp/press\\_release/10480/](https://www.disc.co.jp/press_release/10480/)

#### (4) 従業員の奨学金返還支援制度を導入、最大200万円支援／松屋フーズ

松屋フーズホールディングスは6日、従業員が学生時代に借り入れた奨学金の返還を支援する「奨学金返済支援制度」を導入し、2024年1月より運用を開始すると発表した。同社グループ所属の正社員・無期雇用パート・アルバイトを対象者とし、国内すべての奨学金(貸与型)を対象とする。一人当たりの返済支援総額は最大200万円(元利合計)、最大5年間の返済全額を支援。今後、新卒採用や社内への周知を図り、優秀な人財確保や従業員定着率向上への寄与も期待しているとしている。

<https://www.matsuyafoods.co.jp/whatsnew/topics/54655.html>

#### (5) 「75歳以降でも仕事をしたい」は27.2%／中高年者縦断調査

厚生労働省は15日、第18回(2022年)「中高年者縦断調査(中高年者の生活に関する継続調査)」結果を公表した。同調査は、2005年10月末に50～59歳だった全国の男女を対象に毎年実施。第18回調査では、第1回調査から協力が得られた1万6,043人について集計。調査対象者の年齢は67～76歳となっている。第1回調査からの17年間の就業状況の変化をみると、「正規の職員・従業員」は38.6%から2.6%へ減少。「自営業主、家族従業員」は15.3%から11.9%へ、「パート・アルバイト」は17.0%から14.1%へと減少している。第18回調査時に「仕事あり」の者(37.9%)のうち、「68～69歳になっても仕事をしたい」は80.3%、「70～74歳になっても仕事をしたい」は59.1%、「75歳以降も仕事をしたい」は27.2%だった。

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/judan/chukou23/index.html>

▽報道発表資料

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/judan/chukou23/dl/houdou.pdf>

▽概況

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/judan/chukou23/dl/gaikyou.pdf>

#### (6) 被用者保険の「適用拡大」に関する広報のあり方など議論／厚労省会議

厚生労働省は15日、第2回「被用者保険の適用拡大に関する効果的な広報のためのアドバイザー会議」を開催した。同会議は、適用拡大の更なる推進に向けた環境整備・広報の充実のため、企業の好事例を活用した広報のあり方について専門的・技術的な観点から有識者等の助言を得て開催するもの。第1回会議(9/1開催)の意見を踏まえ、好事例収集のための企業アンケート調査を設計し、2023年10月16日～11月21日まで実施している。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000212815\\_00039.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000212815_00039.html)

▽資料2「好事例を踏まえた広報コンテンツの方向性について」

<https://www.mhlw.go.jp/content/12601000/001167675.pdf>

(7) 両親ともに育休取得で10割給付、リスクリングにも新たな給付案を提示／厚生省部会

厚生労働省は13日、労政審職業安定分科会雇用保険部会を開催し、育児休業給付等と教育訓練給付等について、これまでの議論の整理と見直しの方向性について提示した。育児休業給付等については、出生後一定期間内に両親ともに育児休業を取得することを促進するため、両親がともに14日以上育児休業を取得した場合、28日間を限度に、給付率を現行の67%（手取りで8割程度）から、8割程度（手取りで10割相当）に引き上げる案が示された（資料1-1・4頁）。教育訓練給付等については、在職中に教育訓練を受けるために休業等を行う場合に、基本手当に相当する給付を支給するという新たな給付の創設について方向性の案が示された（資料2-1・10頁）。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_36039.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_36039.html)

▽資料1-1（育児休業給付等）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11601000/001161666.pdf>

▽資料2-1（教育訓練給付等）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11601000/001161668.pdf>

(8) 年休取得日数10.9日、取得率62.1%、1984年以降過去最高／就労条件総合調査

厚生労働省は10月31日、2023年「就労条件総合調査」結果を公表した。22年の年次有給休暇の平均取得率は62.1%（同58.3%）で1984年以降過去最高。取得日数10.9日（同10.3日）も同じく過去最高。政府は「過労死等の防止のための対策に関する大綱」などで2025年までに年休取得率70%を目標にしている。退職給付（一時金・年金）制度が「ある」企業は74.9%。同制度がある企業を「100」とした制度の形態別の企業割合は、「退職一時金制度のみ」が69.0%、「退職年金制度のみ」が9.6%、「両制度併用」が21.4%だった。このほか、退職者の状況や退職給付額などについても調査している。

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/jikan/syurou/23/index.html>

▽報道発表資料

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/jikan/syurou/23/dl/houdou.pdf>

▽概況

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/jikan/syurou/23/dl/gaikyou.pdf>

(9) 61.5%の企業が「人事制度・雇用慣行を変える必要性」があると回答／民間調査

リクルートは1日、「企業の人材マネジメントに関する調査2023（人事制度／人事課題編）」を発表した。それによると、61.5%が「人事制度や雇用慣行を変える必要性を感じている」と回答。理由のトップは、「既存従業員のモチベーションを高めるため」（57.7%）、次いで「組織の多様性を高めるため」（41.0%）、「採用市場で自社が必要とする人材の確保が難しいため」（40.6%）などの順。現在の人事課題の上位には、「次世代リーダーの育成」（37.6%）、「従業員のモチベーション維持・向上」（35.0%）、「管理職のマネジメントスキル向上」（31.0%）などが挙げられた。

[https://www.recruit.co.jp/newsroom/pressrelease/assets/20231101\\_hr\\_01.pdf](https://www.recruit.co.jp/newsroom/pressrelease/assets/20231101_hr_01.pdf)

◇ ◆【From\_M】 から 情報提供ありがとうございます。

◆がん治療中の就労支援はどこまで進んだか？：患者・医師アンケート 2023 の結果から  
| がん情報サイト「オンコロ」 第 64 回日本肺癌学会学術集会より

<https://oncolo.jp/news/231117ra01>

◆糖尿病と仕事の両立は大変？～周りの人をお願いしたいサポートも解説～ |  
シンクヘルス株式会社

<https://health2sync.com/ja/blog/diabetes-work/>

- 目次
- 1 糖尿病になっても仕事は続けられる？
  - 2 糖尿病を職場に伝えるべきか
  - 3 仕事を続ける上でのポイント
  - 4 一緒に働く方をお願いしたいこと
  - 5 まとめ

◆厚生労働科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野

循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究

202209050A 循環器病に対する複合リハビリテーションを含む

リハビリテーションの現状と課題の明確化のための研究

<https://mhlw-grants.niph.go.jp/project/162640>

◆【重要】脳卒中の予後予測とは？注意点や改善のためのリハビリ方法！

脳卒中・脳梗塞・脳出血の後遺症改善 - 脳神経リハビリセンター

<https://noureha-nagoya.jp/stroke-prognosis/>

◆《動画》【世界メンタルヘルスデー2023】#ココロに聞いてみよう！

～私たちの日常とメンタルヘルス～ トークイベント※2024年3月29日まで公開予定  
厚生労働省

<https://www.youtube.com/watch?v=6tpZmTKyMVY>

◆働き方改革のかげで ～増え続ける精神疾患～

- クローズアップ現代取材ノート - NHK みんなでプラス

<https://www.nhk.or.jp/minplus/0121/topic032.html>

◆化学物質の自律的管理をテーマとしたシンポジウムなどを開催

第 44 回産業保健活動推進全国会議

<https://www.med.or.jp/nichiionline/article/011421.html>

第 44 回産業保健活動推進全国会議が 10 月 19 日、日本医師会館小講堂で、WEB 会議システムを用いてハイブリッド形式で開催された。

開会に先立ち、武見敬三厚生労働大臣、松本吉郎会長、有賀徹労働者健康安全機構理事長、清水英佑産業医学振興財団理事長があいさつを行った。

◆【12月6日（水）「ストレスチェック大賞 2023」記念ウェビナー開催・概要】

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000125.000016738.html>

ストレスチェックサービスを手掛ける情報基盤開発が、ストレスチェックの活用と日ごろの職場環境改善活動を表彰する「ストレスチェック大賞」を創設。優秀賞受賞法人を発表

開催日時 12月6日（水）14:00～17:00 ※予定（配信時間変更の可能性あり）

配信形式 ZOOM ウェビナー形式でライブ配信

※Zoom アプリの新規インストール不要（WEB ブラウザ参加 OK）

※PC・スマートフォン等、YouTube がご視聴いただける環境でご覧ください

会場：東京大学伊藤国際学術研究センター 特別会議室

参加方法 参加費 無料

下記 URL より特設フォームの必要事項をご入力の上、参加をお申し込みください。

[https://www.altpaper.net/award2023?utm\\_source=PRTIMES](https://www.altpaper.net/award2023?utm_source=PRTIMES)

※お申し込み完了後、セミナー参加手順などを記載したメールを送付致します

◆「動画」従業員の仕事の幸せな働き方とは？ 第2回「ウェルビーイングテーブル」採録：

【SDGs ACTION!】朝日新聞デジタル

<https://www.asahi.com/sdgs/article/15053298>

朝日新聞社と Hakuhodo DY

今回のテーマは「ウェルビーイングなオフィス・働き方とは？ ～時間と場所に縛られない、自分らしく働ける仕組みづくり～」。企業や団体の担当者らが集まり、従業員の幸福度を高める働き方について、専門家の話に耳を傾けました

◆「幸せ」の観点から探る、シニア社員のこれからの働き方【ビジネス最前線】

<https://news.yahoo.co.jp/articles/c0e03bef9360015091e7d5214c36aa5b62c4024f>

今回は、50代・60代のビジネスパーソンに向けて幸せの観点からこれからのキャリアについて考察します

◆法務省：令和5年度「全国一斉『女性の人権ホットライン』強化週間」の実施について

[https://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken03\\_00236.html](https://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken03_00236.html)

<https://www.moj.go.jp/content/001406145.pdf>

法務省の人権擁護機関（法務局・人権擁護委員）は、女性の人権を守るための各種相談活動として、専用相談電話「女性の人権ホットライン」での相談を実施しています。

これらの相談活動の強化を目的として、以下のとおり、「全国一斉『女性の人権ホットライン』強化週間」を実施します。

- 1 実施時期：令和5年11月15日（水）から11月21日（火）までの間
2. 受付時間：(1)強化週間中の平日は、午前8時30分から午後7時まで  
(2)強化週間中の土曜日及び日曜日は、午前10時から午後5時まで

3. 相談方法：女性の人権ホットライン

0570-070-810 ゼロナナゼロのホットライン

(※一部のIP電話からは接続できません。)

- ◆気候危機が、仕事と労働者に与える3つの影響

<https://jp.weforum.org/agenda/2023/10/ga-to-ni-eru3tsuno/>

- ◆妊婦禁忌の新型コロナウイルス感染症治療薬の処方並びに調剤に関する合同声明文等の公表について（周知依頼）（令和5年11月14日事務連絡）(PDF,679KB) 【新型コロナウイルス感染症対策推進本部、医薬局医薬安全対策課 医薬品医療機器等法関係】

<https://www.mhlw.go.jp/hourei/doc/tsuchi/T231115I0010.pdf>

- ◆「緊急避妊薬」11月28日から全国約150の薬局で試験的に販売へ

<https://news.yahoo.co.jp/articles/520c720e150bdb3873e7a2ed0ffa10c6006779d1>

望まない妊娠を防ぐための「緊急避妊薬」をめぐる、医師の処方箋なしに販売できるか調査研究を行うために、日本薬剤師会が今月28日から全国およそ150の薬局で試験的に販売を始めることがわかりました。

- ◆「年取の壁・支援強化パッケージ」全般のご質問は、厚生労働省のホームページおよびコールセンターへお問い合わせください。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/taiou\\_001\\_00002.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/taiou_001_00002.html)

- ◇「過重労働解消キャンペーン」を11月に実施します。（再掲）

↓実施期間：令和5年11月1日（水）から11月30日（木）までの1か月間

[mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/roudoukijun/campaign\\_00004.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/roudoukijun/campaign_00004.html)

過重労働解消のためのセミナーを開催します

企業における自主的な過重労働防止対策を推進することを目的として、10月～1月を中心に全国でオンラインまたは会場開催により、「過重労働解消のためのセミナー」

【委託事業】を開催します。

（無料でどなたでも参加できます。）

[https://kajyu-kaisyuu-zenkiren.com/pdf/seminar\\_ad.pdf](https://kajyu-kaisyuu-zenkiren.com/pdf/seminar_ad.pdf)

小野田 富貴子（両立支援担当）

[fukiko-onoda@honbu.johas.go.jp](mailto:fukiko-onoda@honbu.johas.go.jp)

中山 篤（メンタルヘルス担当）

[atsui78natsu@gmail.com](mailto:atsui78natsu@gmail.com)

菅野 由喜子（メンタルヘルス担当）

[yukikan28@gmail.com](mailto:yukikan28@gmail.com)